



Lend a Hand
手を貸そう

国際ロータリー第2620地区

Weekly Report

御殿場ロータリークラブ週報

第1833回
例会プログラム
2004.2.26

No. 34

例 会 場 / 東山荘・講堂

開 会 点 鐘 / 12:30

ロータリーソング / 四つのテスト

内 容 / ローターアクトクラブの存続について
会長・幹事
ローターアクト委員会

会 員 慶 事

誕生日

2月26日 稲葉 博之君

結婚記念日

3月2日 嶋田泉太郎君・正江様 ご夫妻

夫人誕生日

2月28日 藤田昇司君 ご夫人 昌 子様

3月 3日 水口正宏君 ご夫人 伸 子様



会 長 水口 正宏

『夜来を過ぎる微かな雨は、
春の草の生ずるを知らず。』今日
は24節季の「雨水」で、乾いた季節から潤いと
光に満ちた春が大分近づいてまいりました。

私たちの社会生活も、少子高齢化や核家族化・
個別化で益々乾いたものになりつつありますが、
再び昔のような潤いのある生活を取り戻すには
一体どうしたらよいのでしょうか。

そこで本日は、増田喜代子様をお招きして、「人
を認め合う地域づくり」という卓話を伺うこと
になっております。

「人を認め合う」ということの前提について、
少し私見を述べさせていただきます。

かつて和辻哲郎が「人間（人の間）」という概
念を提示したように、人は孤立して存在するわ
けではなく、又ばらばらな個人が全くの無秩序

の状態で集まり、そこで社会的な契約を結ぶわけ
でもない。生まれた時から「人の間」にいるのであって、
「人の間」で生きていけるように育児や教育がなされ
る。その「人の間」を成り立たせるルール（倫理）は、
共有される言語で表現される。

しかし、社会が大きく変動したり、外の社会と深
く関係するようになると、ルールはそれほど明確で
はなくなる。更に、言語によるルールで規制される「人
の間」で、全ての問題が解決するわけではない。そ
こから逸脱する問題がたくさんあって、そのルール
自体がそれほど堅固なものではない。相互に同じ規
則に従っていると考えられる限りにおいては、他の
人との間には相互了解が成り立ち支障もない。とこ
ろが、そこに乗れない人がいると、異質性が強く意
識される。

ルールに収まりきれない他者は、自分の内側にも
住み着いていることが多々ある。

いろいろな地域づくりが容易でないのは、そんな
ところにあるのではないのでしょうか。

次回3月4日の例会

1834回 12:30点鐘 東山荘・講堂

さらりとした
ロータリーライフを

ローターアクト3月例会

3月 3日(水)19:30 市民会館

3月17日(水)19:30 市民会館

出席される
ロータリアンの方は、
食事を済ませて
きて下さい。

人を認め合う地域づくり

静岡県人づくり推進員 増田 喜代子様



30年前、「女は家に居るものだ」という考えの家に嫁ぎました。その頃の私は、自分と考え方の違う人達とは距離を置いてきました。

そんな私に夫は、「10人いたら3人が賛成、3人は反対、4人がファジーで組織は成り立っている。」と忠告してくれましたが、私は5人は賛成して欲しいと、分かってもらふ努力も工夫もしないで勝手に望んでいました。

思い込みの強い性格は、不満が多くなって生きるのが楽ではありません。その上、心とは裏腹に顔はいつもニコニコしていたのだから、ストレスは溜まるばかりでした。

15年前、海外赴任を経験した夫が帰って来た時から全てが大きく変わりました。私を心配して、「何かやりたいことはないのか。」と、県主催の海外研修を勧めてくれました。

高齢の義母も何かと後押しをしてくれたことが何よりも有難く、今でも感謝しています。

あちらでは、自分をしっかりと見つめ、自らの目標に向かって行動している女性に沢山会いました。周りに「認められる」と、誰でもこんなにも輝くものかと感心して帰って来ました。この体験で私の性

格も大分矯正され、相手の生き方や立場を素直に受入れることが出来るようになったから、今やっている行政との関わりやボランティア活動がスムーズにしているのだと思います。

夫は「52歳で仕事は辞めて、居酒屋をやりたい。」とよく言っていました。まさかと思っていたら、本当にそうしてしまいました。ここには世間から困った奴だと思われそうな格好の若者もよく来ます。無愛想な彼らに「お帰り、仕事ご苦労様。」と声を掛けると、「うん、今日も頑張ってきたよ。」と笑顔で答えてくれます。ただこれだけのことで嬉しくて、もっともっと彼らの頑張りを認めていこうと気付かれます。

居酒屋をやるようになってからは朝から晩まで一緒にいるものだから、お互いの悪い所ばかりが目につくようになりましたが、「お互いを認め合い」、夫々が得意なことをやるようにし、困った時は応援し、やりたいことは邪魔をしないということで毎日を過ごしています。

もうすぐ結婚して30年になりますが、会話が以前にも増して楽しいです。

「認め合う」ことが、家庭の中でも社会でも最も大切なことだと私は考えます。お互いを認め合い、理解してもらう為に最大限の努力をすることで、より良い人間関係をつくっていけます。これからどれだけ多くの人に会えるのか楽しみでなりません。

夫と二人、認め、また認められ、納得した人生を送るよう心掛けていきます。

2月19日の出席報告

会員数	計算に用いる 会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
61名	58名	55名	94.83%	100.00%

欠席者(3名)

勝間田豪亮君・大森 清治君・菅沼 久君

やむを得ず欠席される方は、午前10時までにご連絡下さい。

	メーキャップ (6名)	望月 茂君	2月 4日	GRA
		勝又博文君	2月 4日	GRA
		神谷高義君	2月 6日	裾 野
		戸栗太平君	2月 6日	裾 野
		大庭健一郎君	2月13日	裾 野
		石田 恩君	2月17日	箱 根

3月 御殿場RC例会プログラム

月 日	点 鐘	会 場	内 容	担当及び卓話者
3/ 4 (1834回)	12:30	東山荘・講堂	紙パルプ産業の現状と課題	富士テクノサポート 中田幸次郎様
3/11 (1835回)	12:30	東山荘・講堂	新会員卓話	狩野住夫君
3/18 (1836回)	12:30	東山荘・講堂	御殿場市の防災体制について	防災スタッフ 牧野恵一様
3/25 (1837回)	18:30	名鉄菜館	RACと合同例会	Rアクト委員会

☺2月19日のスマイル

来る3月29日付けにて、社長と工場長を兼務するよう拝命いただきました。狩野住夫君(キリン ディスティラリー)

第2620地区

御殿場ロータリークラブ

例会日/木曜日
例会場・事務局/YMCA東山荘
静岡県御殿場市東山1052
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
<http://www.gotemba-rc.gr.jp/>

会 長/水口 正宏
幹 事/梶原 一正
会報委員長/勝又 誠